

[中小製造業向け 標準版 (第1版)]

◇記入例の企業概要

- ・名称 (株)〇〇製作所
- ・所在 岡崎市に1製造拠点
- ・規模 100人程度
- ・業種 機械加工業
- ・その他 重要データを取引先と共有

事業継続計画書 (BCP)



<記入例>



(株)〇〇製作所

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 作成
年 月 日 改定 (第 版)

※*斜体*は記入例を示したものです

目次

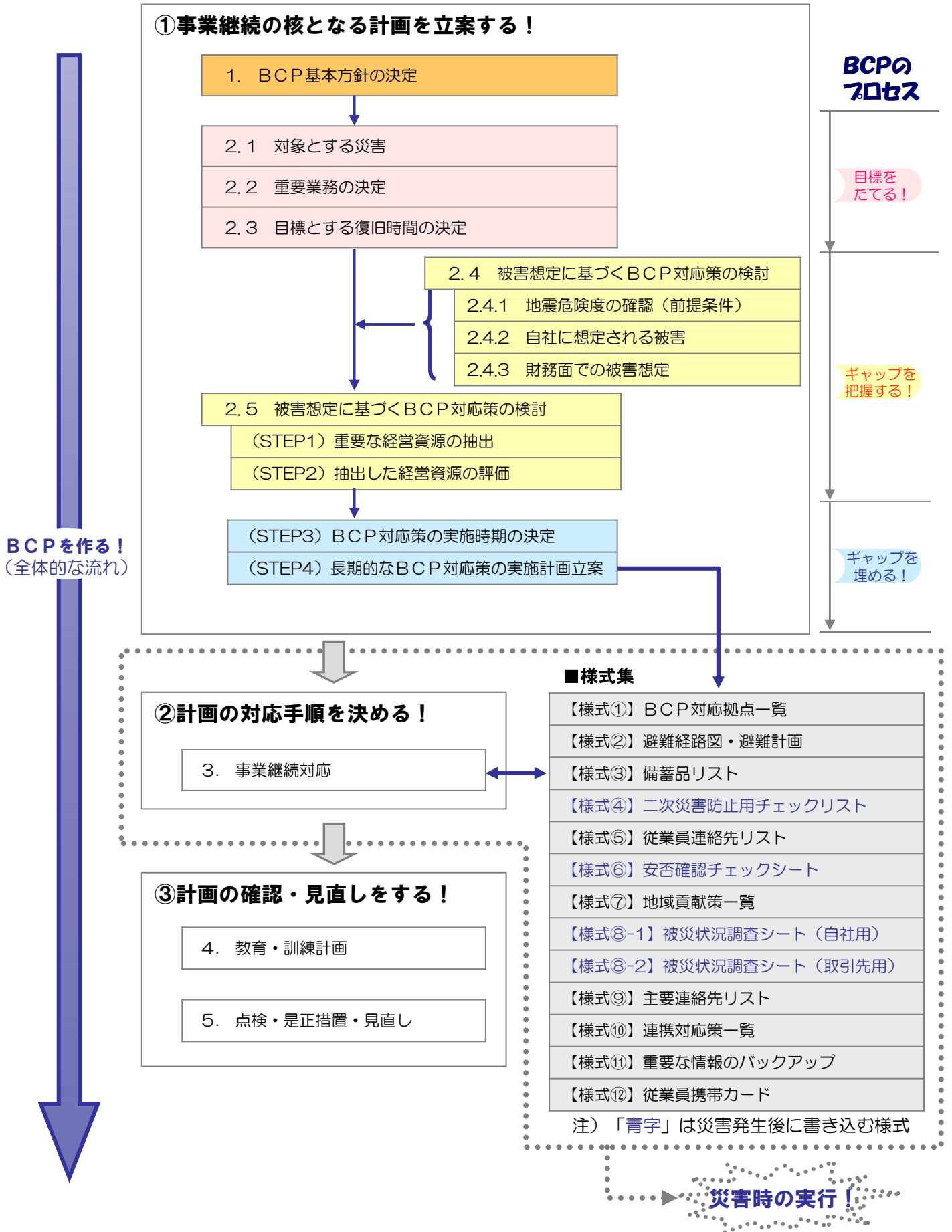
項目		ページ
検討の流れ		
1. BCP基本方針の決定 		1
2. 計画	2.1 対象とする災害	2
	2.2 重要業務の決定	2
	2.3 目標とする復旧時間の決定	3
	2.4 重要業務が受ける被害の想定	4
	2.4.1 地震危険度の確認（前提条件）	4
	2.4.2 自社に想定される被害	5
	2.4.3 財務面での被害想定	7
	2.5 被害想定に基づくBCP対応策の検討	8
	STEP1 重要な経営資源の抽出	8
	STEP2 抽出した経営資源の評価 	9
STEP3 BCP対応策の実施時期の決定	12	
STEP4 長期的なBCP対応策の実施計画立案	13	
3. 事業継続対応		14
4. 教育・訓練計画		15
5. 点検・是正措置・見直し		16

[様式集]		
【様式①】 BCP対応拠点一覧		17
【様式②】 避難経路図・避難計画		18
【様式③】 備蓄品リスト		19
【様式④】 二次災害防止用チェックリスト		20
【様式⑤】 従業員連絡先リスト		21
【様式⑥】 安否確認チェックシート		22
【様式⑦】 地域貢献策一覧 		23
【様式⑧-1】 被災状況調査シート（自社用）		24
【様式⑧-2】 被災状況調査シート（取引先用）		25
【様式⑨】 主要連絡先リスト		26
【様式⑩】 連携対応策一覧 		27
【様式⑪】 重要な情報のバックアップ		28
【様式⑫】 従業員携帯カード		29



マークの付いている項目は、連携した取組みを検討することが効果的な項目です。検討する際に参考となる具体的な事例については、「BCP取組み事例集」（Ⅲ．BCP取組みの連携事例・アイデア集）をご覧ください。

検討の流れ



1. BCP基本方針の決定

-ポイント-

- ・ 経営者として、従業員や取引先に向け、あなたの会社がBCPを策定する目的を意思表示してください。
- ・ 以下の方針・観点を確認し、該当する方針にチェックしてください。




会社名を記入してください。

『(株)〇〇製作所 BCP基本方針』

当社は、大規模地震等の災害が発生した場合でも、取引先の事業および従業員の生活に影響を及ぼさないよう、以下の方針に基づき策定したBCPに則り、事業の継続・早期復旧に取り組めます。

該当する方針を、チェックしましょう。

他に観点のある場合は書き加えましょう。

チェック	方針	観点
<input checked="" type="checkbox"/>	従業員及びその家族の安全を守る 	従業員及びその家族の安否状況をまず把握する。 <i>安全確保に必要な対応策に積極的に取り組む。</i>
<input checked="" type="checkbox"/>	取引先からの信用を守る 	被災した際にも速やかに復旧可能な体制を整備し、お客様に影響を及ぼすことのないよう努める。
<input checked="" type="checkbox"/>	従業員の雇用の維持 	災害発生後も現在の事業規模を必ず維持する。
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	<i>被災後、3日間は地域住民の救命活動を優先する。</i>

災害時に他企業等と連携して対応する場合の共通の方針

※具体的な対応方針がある場合には、こちらに記入しましょう。

チェック	連携先との共通の対応方針
<input checked="" type="checkbox"/>	<i>関連企業のネットワークを活用することで互いに早期復旧することを目指し、代替対応の可能性を意識した計画を立案する。</i>

連携が有効!



他企業等と連携することが効果的と思われる項目の具体的な事例については「BCP取組み事例集」(Ⅲ. BCP取組みの連携事例・アイデア集)を参照してください。

…▶ ここで決定した方針は、これ以降のBCPを作る過程で常に意識して取り組んでください。

2. 計画

目標を
たてる！

ギャップを
把握する！

ギャップを
埋める！

2.1 対象とする災害

愛知県では、東海地震、東南海地震の発生する切迫性が懸念されており、その時の被害が甚大であることから、「大規模地震」を対象にしています。

-ポイント-

- 愛知県の企業にとって、地震は最も影響を受ける災害と考えられます。中でも、その被害が県内の広範囲にわたると予測される想定東海・東南海地震が連動して起こった場合*を「対象とする災害」として、BCPの策定に着手してください。

※愛知県東海地震・東南海地震等被害予測調査結果(<http://www.pref.aichi.jp/bousai/all/all.htm>)

対象とする 災害	大規模地震（想定東海・東南海地震連動）
-------------	---------------------

…▶ この想定東海・東南海地震が連動して発生した場合であっても、「最優先に継続または復旧しなければならない事業は何か？」
「どのくらいの期間までに復旧させなければならないか？」
を、次の「2.2 重要業務の決定」「2.3 目標復旧時間の設定」で考えます。

2.2 重要業務の決定

-ポイント-

- 被災時には、ヒトやモノなど各種業務に必要な経営資源が、著しく不足する可能性があります。全ての業務を行うことは不可能であり、*あなたの会社にとって最も必要な業務（重要業務）に、その限られた経営資源を投入する必要があります。*
- ここでは、大規模地震が発生した場合でも、最優先に事業を継続または復旧しなければならない事業（重要業務）を決定します。以下の観点で考えて、*あなたの会社にとって影響が大きい製品を3つずつ書き出してください。*
- また、他に重要な製品を抽出する観点がある場合には、その観点を必要に応じて追加・変更してください。書き出した製品の中から、あなたの会社の存続に係わる最も重要な製品の製造を、「重要業務」として決定してください。

観点	製品名		
	①	②	③
自社の売上	各種歯車	ギヤーボックス	自動車部品用 ブラケット
取引先への影響	各種歯車	ギヤーボックス	スタッドシャフト
社会的責任	—	—	—
代替生産の可能性	自動車部品用 ブラケット	スタッドシャフト	

それぞれの観点で自社へ最も影響のある業務や製品を選び、そのうち、会社の存続に係わる業務（停止してしまうと最も困る製品の製造）を決めてください。限られた経営資源を投入する、最低限必要な業務を絞り込まなければ、会社の存続に係ります。

あまり難しく考えずに、経営者としての直感、例えばこれまでの経験から、この業務が止まってしまうと、自社が立ち行かなくなると感じている業務を選んでいただいても結構です。

重要業務	歯車・ギヤーボックス の製造
------	-------------------

…▶ この部分で決定した最優先に復旧する業務を、どの程度の期間で復旧させるのか、その目標を次の「2.3 目標とする復旧時間の設定」で考えます。

2.3 目標とする復旧時間の決定

-ポイント-

- あなたの会社の重要業務が、災害により操業停止した場合には、取引先に与える影響や社会的な影響を考慮して、事業の継続、あるいはできるだけ早く事業を復旧させるように努めなければなりません。
- BCPを策定する際には、取引先からの要請により、事業を再開するまでの「目標とする復旧時間」を決定し、それを実現するための対応策を検討する必要があります。
- 取引先からの要請が無い場合には、「2.2 重要業務の決定」で重要業務を選定するために考慮した各観点から、求められる復旧時間を検討してください。
- **重要業務の停止にどこまで耐えられる（あなたの会社が存続できる）のかという点を意識した目標設定が重要です。**

※ 自社で現実的に可能な対応策を実施しても、取引先からの要請（復旧時間など）を満たすことが不可能な場合には、他社に代替生産を依頼するなど、別の解決方法を検討する必要があります。

※ ただし、電気や都市ガスなどのライフラインが停止している場合、中小企業ではその代替手段を確保することは、現実的に困難であると思われます。そのため、目標とする復旧時間は、ライフライン等の復旧後、どれぐらいの期間で重要業務を復旧させるかと考えて決定していくことが、現実的な検討の流れになります。

こんな場合にはご注意ください！

取引先からの要請により、目標とする復旧時間が制約を受ける場合



取引先の要請に応じた復旧目標（時間・レベル）を設定する必要があります。

⇒その要請に応えられない時は、信用を失うおそれがあります。

必要なライフラインは具体的に何ですか？

どの程度の期間で復旧させる必要がありますか？

復旧目標

電力・都市ガス復旧後5日以内の製造再開

(地震発生後の被害状況に応じて、主要取引先と協議し、詳細に設定)

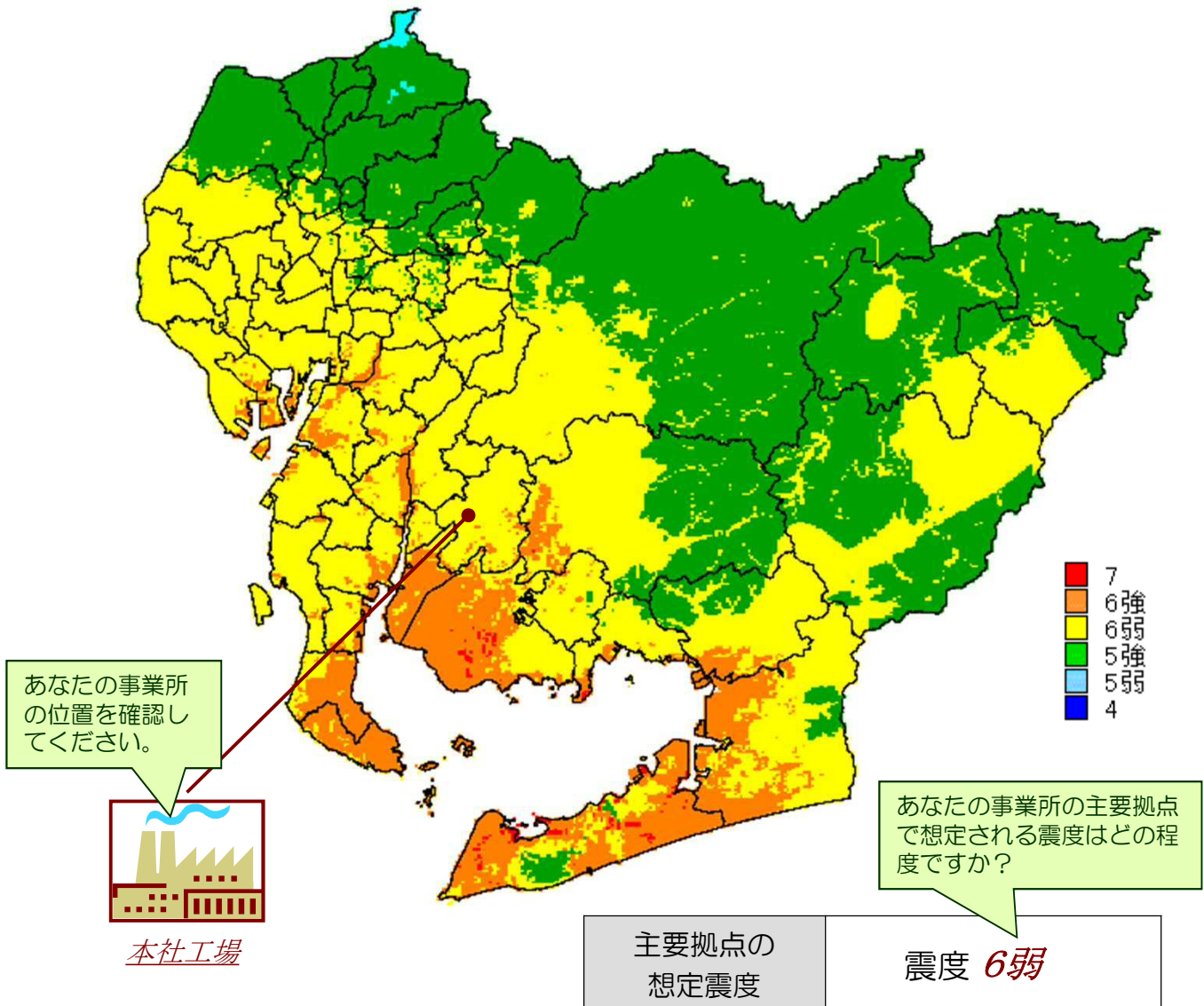
・・・▶ 「2.2 重要業務の決定」で決定した重要業務が、大規模地震によってどのような被害を受けるかを把握するために、次の「2.4 重要業務が受ける被害の想定」で、被害状況を確認します。

2. 4 重要業務が受ける被害の想定

2. 4. 1 地震危険度の確認（前提条件）

-ポイント-

- ・対象とする災害である「想定東海・東南海地震連動」の、予測される震度の分布図で、*あなたの会社の重要業務を行うために必要な拠点の位置と、震度の大きさを確認してください。*
- ・また、複数の拠点がある場合には、それぞれの位置を地図に落として確認しましょう。その結果、想定される震度に差がある場合には、被害を受けにくい方の拠点を、BCP対応の拠点とするなどの目安としてください。



震度の分布(想定過去自身最大モデル)

出典:平成23年度~25年度愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果

…▶ ここで確認した主要拠点の震度を基に、「2.4.2 自社に想定される被害」では、あなたの会社の経営資源に起こるおそれのある被害状況を確認します。




2.4.2 自社に想定される被害

ポイント

- ・「2.4.1」で確認した、あなたの会社の主要拠点における震度を下表①にあてはめ、**あなたの会社の建物や設備等にかかる被害をイメージしてください。**
- ・その他経営資源の被害状況については、下表②から被害をイメージしてください。
- ・近年の地震発生状況からも「震度6強」の被害状況を念頭に置き、BCPを作成することをお勧めします。







[表① 事業所の被害状況]

重要業務への影響の評価や、対応策の検討を行う際には、震度6強の被害を参照することをお勧めします。

対象	想定される震度に応じた被害状況		
	5弱・5強	6弱	6強
該当箇所に「○」を記入	前頁で確認した主要拠点の震度により、どのような被害が起こるのかを確認してください。		
事業所建物 	耐震性の低い建物は、壁、梁、柱等に大きな亀裂が生じるものがあります(倒壊には至らない)。	耐震性の低い建物は、壁や柱が破壊するものがあります。耐震性の高い建物でも大きな亀裂が生じるものがあります。	耐震性の低い建物は、倒壊するものがあります。耐震性の高い建物でも壁、柱が破壊するものがあります。
機械及び装置 	未固定の不安定な設備が倒れることがあります。計器、PC等が台等から落下することがあります。	未固定の設備の多くが移動、転倒します。	未固定の設備のほとんどが移動、転倒します。
工具・器具・備品 	吊り下げ物は激しく揺れ、什器等に収納している工具・器具類が落下することがあります。	未固定の什器類の多くが転倒します。工具・器具類も散乱します。	未固定の什器類のほとんどが転倒します。工具・器具類も散乱します。

※ 耐震性の低い建物の目安は、昭和56年以前の古い耐震基準で設計されている建物で、耐震補強がされていない建物です。

[表② その他経営資源の被害状況]

項目	被害状況
ヒト 	県内では、死者、負傷者、帰宅困難者が多数発生すると想定されます。交通機関がマヒし、出社指示に応じられない従業員が、多数発生する可能性があります。 ※死者(約2,400人)、負傷者(約66,000人)、帰宅困難者(約980,000人)
情報 	未固定のデータサーバが転倒し、破損する可能性があります。必要な情報(データ)が復旧不可能となります。重要なデータが事業所内にあり、事業所の建物が被災した場合にはデータを取り出すことができなくなります。
インフラ 	停電が発生します。広い地域でガス、水道の供給が停止することがあります。 ※被害を受けたインフラの停止期間は、電気:1週間、水道1か月、ガス:1か月を目安としましょう。
電話 	発災直後には、県内全域で電話がつながりにくい状態となります。応急復旧に3日から1週間程度を要します。 ※災害時には、一般加入電話や携帯電話などの音声通話よりも、携帯メールの方がつながりやすくなります。公衆電話は使用可能です。
道路 	発災直後には、県内全域で不通区間が多く発生します。3日間程度は、道路の片付け・復旧作業等のため、緊急輸送路も使用は困難になります。
物流網 	発災後3日程度から緊急輸送ルートは確保されるものの、緊急輸送物資以外の輸送は、困難となります。

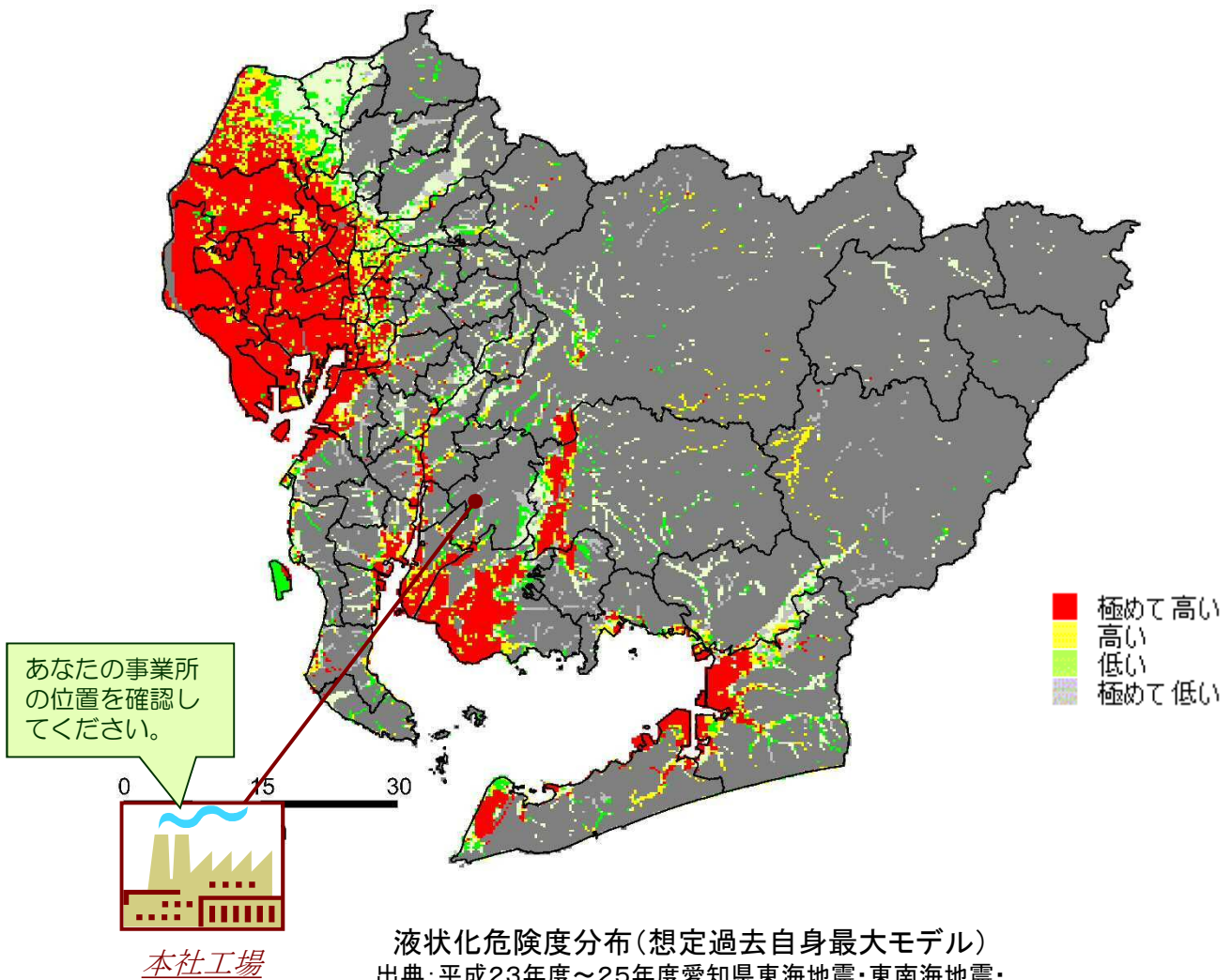
※ 「想定東海・東南海地震連動の全体的な地震災害シナリオ概要」(愛知県東海地震・東南海地震等被害予測調査)を基に、過去の被害事例等を考慮して作成。

...▶ ここで主な経営資源の被害イメージをつかみました。
「2.4.3 財務面での被害想定」では、操業が停止した場合の財務状況について考えます。

(参考) 液状化危険度

-ポイント-

- ここでは、液状化に伴う被害発生の危険性について確認してください。
- 特に、液状化危険度が「極めて高い」地域で、近隣に河川護岸や海岸がある場合には、大規模な地盤の移動や、沈下などが起こるおそれがあります。液状化危険度が「極めて高い」「高い」地域では、建設業者等の専門家に、その影響などについて相談してください。



「極めて高い」「高い」に該当する場合には、事業所への影響について専門家に相談してください。

危険度 区分	液状化発生のおそれ			
	極めて高い	高い	低い	極めて低い
該当箇所に「○」を記入				○
液状化の影響のイメージ	液状化後の地盤の沈下により、工場内の床面に亀裂、設備が傾斜する等の被害が生じる可能性が高いです。	液状化後の地盤の沈下により、工場内の床面に亀裂、設備が傾斜する等の被害が生じる可能性があります。	建物周辺地盤に若干の沈下等が生じる可能性があります。	特に液状化の影響は無いと考えられます。

2. 4. 3 財務面での被害想定

-ポイント-

- ・被災により、工場の操業が停止すると、収入が“ゼロ”になってしまいます。
- ・一方、支出は、被害を受けた設備などの復旧費用に加え、従業員の給与の支払いや買掛金の決済など、平常時と変わらず行う必要があります。
- ・この項目では、あなたの会社で利用できる資金を整理するとともに、被災後の財務状況を簡単に見積もります。
- ・概算して得られた「手元資金」が、「復旧費用」よりも少ない場合は、緊急貸付についてあらかじめ取引のある金融機関に相談することをお勧めします（相談先については、「BCP取組み事例集」の資料Bを参照してください）。

応急対策や当面の運転資金として、売上高1か月分を確保しましょう。（※）

①手元資金の状況

種類	金額	備考
現金・預金	30 百万円	保有している現金・預金の総額を記入してください。
損害保険金	10 百万円	損害保険の加入対象をチェックし、保険金の補償額を記入してください。 <input checked="" type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 水害 <input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 事業中断
会社資産	20 百万円	株券等の売却可能な資産を記入してください。
手元資金 (計)	60 百万円	

※ 過去の被災企業の経験等により、一般的に1か月分の売上高程度を確保することが望ましいと考えられています。（中小企業庁「中小企業BCP策定運用指針」より）

②復旧費用・その他支払額の予測

	復旧期間・再調達期間	復旧費用・その他支払額
事業所建物	30 日	20 百万円
機械・装置	30 日	10 百万円
工具・器具・備品	90 日	5 百万円
小計	上記の最大値を記入 90 日	「復旧期間の最大値」を用いて、その期間に必要な支払額を概算します。 35 百万円
平時からの支払 (従業員給与など)	上記の最大値を記入 90 日	一日あたり 50 万円 × 90 日 = 45 百万円
合計	上記の最大値を記入 90 日	80 百万円

- ※ 財務面での被害を細かく予測することは困難です。ここでは目安と考え、概ねの計算で結構です。
- ※ 損害保険金は、被災後すぐに支払われない場合もありますので、被災直後の資金繰りへの寄与は期待できないと考えてください。
- ※ 復旧期間・再調達期間は、工場の操業停止期間中であっても必要となる給与等の支払額を概算するために用います。

…▶ ここまでに確認したあなたの会社の被害状況を基に、「2.5 被害想定に基づくBCP対応策の検討」では、より詳細に重要業務に必要な経営資源が受ける被害の影響を分析し、目標とする時間内での復旧が難しい要因については、その対応策を検討します。

2. 5 被害想定に基づくBCP対応策の検討



-ポイント-

- ・「2.2 重要業務の決定」で決めた、あなたの会社の重要業務を対象に、STEP1では、どのような経営資源が必要なのかを整理し、STEP2では、大規模地震が発生すると、どのような状況（被害）になり、復旧目標までに事業を復旧させるには、どのような対応策を行う必要があるのかを検討します。

STEP1：重要な経営資源の抽出

経営資源の区分		重要な経営資源
重要業務である 2.2で決定した重要業務を記入してください。 歯車・ギヤーボックスの製造 には右表の経営資源が必要	ヒト 誰が必要ですか？ 何人必要ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・歯車製造部門3名 ・ギヤーボックス製造部門5名 ・設備の点検、調整に△△氏
	施設 どの施設が必要ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・本社工場
	設備 どの設備・装置が必要ですか？ どの金型・治工具有必要ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・生産設備全般 ・金型 ・治具
	モノ 原材料・サプライヤ どの原材料・部品が必要ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料A
	物流 原材料・出荷に係わる物流は？	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇運輸
	インフラ 必要なインフラは？	<ul style="list-style-type: none"> ・電気 ・都市ガス(熱処理工程) ・通信(電話・通信回線)
	システム・データ どのシステムが必要ですか？ 必要なデータは何が必要ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・受発注関連データ ・図面データ
	カネ 運転資金にどれぐらいの額が必要ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・平時の運転資金25百万円/月
	その他	

STEP2の各種経営資源の設問へ

STEP2: 抽出した経営資源の評価(1/3)

目標を
たてる!

ギャップを
把握する!

ギャップを
埋める!

重要業務である

「**歯車・ギヤーボックスの製造**」を、震度 6強 の地震が発生した場合にも
復旧目標の「**電力・都市ガス復旧後5日以内**」に再開する!

2.2、2.3で決定した重要
業務・復旧目標を記入

STEP1で抽出した『ヒト』	はい	いいえ
安否確認はできますか? (電話が使えない場合)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
出社・待機の指示はできますか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
従業員の身の回りの安全は確保できていますか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
就業時間外に発災した場合、会社に出社する要員を決めていますか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
応援要請は可能ですか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

(いいえの場合)対応策

- ・安否確認手段、ルールを決定し、従業員携帯カードに取りまとめ、全従業員に周知する。
- ・携帯電話メールアドレスを用いたメールリストを作成し、連絡・指示手段を整備する。
- ・身の回りの什器類の固定対策を実施する。
- ・交通機関マヒ時の出社可能性を考慮に入れ、BCP対応要員を決定する。
- ・関連取引先など応援要請先を検討する。

連携が有効! 

ヒト



STEP1で抽出した経営資源
に対する設問に、「はい」
「いいえ」で教えてください。

「いいえ」の場合には、重要
業務を継続・早期復旧するた
めの対応策を検討し、記入し
てください。

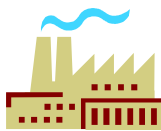
STEP1で抽出した『施設』	はい	いいえ
新耐震設計法(昭和56年以降)による設計ですか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
耐震診断/耐震補強は実施済みですか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
BCP対応拠点を複数検討していますか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(いいえの場合)対応策

- ・建設業者に建物の耐震性について確認する。
- ・必要に応じて耐震診断/耐震補強対策を検討する。
- ・災害時の対応拠点について検討する。

連携が有効! 

(モノ)
施設



対応策を検討する際には他企業等との連携
の可能性についても考慮してください。
※他企業等との連携策については「BCP
取組み事例集」を参考にしてください。

STEP1で抽出した『設備』	はい	いいえ
生産設備の固定対策は実施済みですか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
工場内の設備の耐震性を把握していますか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
金型、治具、工具類の保管状況は万全ですか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
出火のおそれがある設備に地震感知器等を設置していますか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
設備の点検・調整は必要ありますか(自社で対応可能ですか)?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

(いいえの場合)対応策

- ・未固定設備を床面へ固定する。
- ・設備の耐震性調査を実施する。
- ・各種ラックに落下防止金具を取り付ける。
- ・緊急地震速報や地震感知器導入を検討する。
- ・調整が必要と思われる設備メーカーと事前に協議し、緊急時の連絡先、連絡手段を決めておく。

連携が有効! 

(モノ)
設備



重要業務である

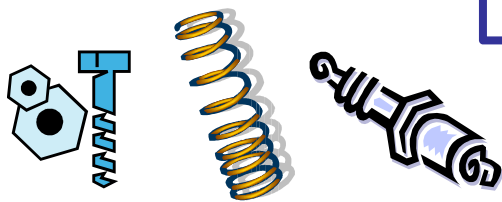
「**歯車・ギヤボックスの製造**」を、震度 6強 の地震が発生した場合にも
復旧目標の「**電力・都市ガス復旧後5日以内**」に再開する!

STEP1で抽出した『 原材料・サプライヤ 』	はい	いいえ
原材料を確保できますか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
原材料の代替調達先を確保していますか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(いいえの場合)対応策

- ・ 原材料Aの調達先の代替先をあらかじめ検討し、平時から調達先を分散する。
- ・ 納入業者と事前に協議し、緊急時の連絡先、連絡手段を決めておく。

(モノ)
原材料・
サプライヤ



連携が有効!

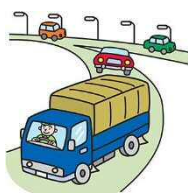


STEP1で抽出した『 物流 』	はい	いいえ
災害時の緊急輸送路や土砂災害等の被害により通行ができなくなる道路を把握していますか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
配送業者と災害時の対応について協議していますか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(いいえの場合)対応策

- ・ 地域防災計画や地震被害想定結果により緊急輸送路となる幹線道路や、土砂災害などにより通行が不可能となる可能性が高い道路を事前に確認し、それ以外の通行可能ルートを確認する。
- ・ 配送業者と災害時の対応について事前に協議する。
- ・ 緊急時の連絡先、連絡手段を決めておく。

(モノ)
物流



連携が有効!



STEP1で抽出した『 インフラ 』	はい	いいえ
操業に必要なインフラを把握していますか?	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
電気・ガス・水道などが長期に停止した場合を想定した対処をしていますか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
非常時の通信手段を検討していますか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(いいえの場合)対応策

- ・ 熱処理工程のみ代替先にて対応する。
- ・ 本社へ衛星携帯電話を配備する。

(モノ)
インフラ



連携が有効!



重要業務である

「**歯車・ギヤーボックスの製造**」を、震度 6強 の地震が発生した場合にも
復旧目標の「**電力・都市ガス復旧後5日以内**」に再開する!

STEP1で抽出した『システム・データ』	はい	いいえ
基幹システム、データサーバの耐震対策は万全ですか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
データのバックアップは定期的に行っていますか?	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特に重要なデータは特別な保管を行っていますか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

システム
・データ



(いいえの場合)対応策

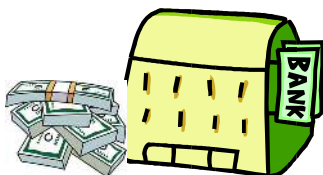
- ・バックアップサーバを固定する。
- ・重要なデータは別途バックアップを行い、耐火金庫に保管する。

連携が有効!



STEP1で抽出した『カネ』	はい	いいえ
必要な運転資金を把握していますか?	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
操業が停止した場合の影響を検討していますか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
現在の手持ち資金で対応可能ですか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
被害が発生した際の概算復旧費用を把握していますか?	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

カネ



(いいえの場合)対応策

- ・商工会議所や△△信用金庫と緊急時の資金繰りについて想定し協議する。
- ・あらかじめ公的融資制度を事前に調査する。

連携が有効!



STEP1で抽出した『その他』	はい	いいえ
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

その他

(いいえの場合)対応策

連携が有効!



-ポイント-

・STEP2で洗い出した対応策を、「BCP対応策一覧」としてまとめ、短期的に実施する項目か、長期的に実施する項目かに分けましょう。

重要な 経営資源	BCP対応		対応策の 実施計画		対応のため 整備・使用 する様式	
	項目	対応策	短期	長期		
ヒト	安否確認手段、 ルール整備	安否確認手段、ルールを決定し、従業員携帯カードに取りま とめ、従業員に周知徹底する。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	様式⑥ 様式⑫	
	連絡・指示	携帯電話メーリングリストを整備する。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	様式⑤	
	安全確保	身の回りの什器を固定する。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
	BCP対応要員 の決定	交通機関がマヒした際に出社可能な従業員を中心にBCP対 応要員を決定する。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	様式⑤	
	応援要請先の 検討	関連取引先などあらかじめ応援要請先を検討し、対応につい て事前協議する。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
モノ	施設	耐震性確認	建設業者に建物の耐震性について確認する。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		耐震補強	必要に応じて耐震補強対策を実施する。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
		対応拠点確保	BCP対応拠点を複数検討する。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	様式①
	設備	設備固定	未固定設備を床面へ固定する。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
		設備耐震調査	設備の耐震性を調査する。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		落下防止設置	各種ラックに落下防止金具を取り付ける。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
		安全確保	緊急地震速報、地震感知器の導入を検討する。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
		設備点検・調整	地震後調整が必要と思われる設備についてメーカーと事前に 協議し、緊急時の連絡先、連絡手段を決定する。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	様式⑨
	原材料・ サプライヤ	調達先の確保	原材料Aの調達先の代替先を確保すると共に、平時から調達 先を分散する。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		緊急時の連絡	緊急時の連絡先、連絡手段を決めておく。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	様式⑨
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	物流	通行可能ルート の把握	緊急輸送路となる幹線道路や、土砂災害などにより通行が不 可能となる可能性が高い道路を事前に確認する。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		事前調整	配送業者と災害時の対応について事前に協議する。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		緊急時の連絡	緊急時の連絡先、連絡手段を決めておく。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	様式⑨
	インフラ	代替対応	熱処理工程のみを代替先で対応するための事前協議を行う。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
通信手段確保		衛星携帯電話を配備する。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
システム・ データ	サーバの固定	バックアップサーバを固定する。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		
	データの保管	重要なデータは別途バックアップを行い、耐火金庫に保管す る。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	様式⑩	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
カネ	資金の調達	商工会議所や△△信金と緊急時の資金繰りに関して事前に 協議する。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	同上	公的融資制度を事前に調査する。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
その他			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

別途作成 (別ファイル)

別途作成
(別ファイル)

4. 教育・訓練計画

-ポイント-

- 被災時に、これまでに検討してきたBCP対応を、従業員の皆様が迅速かつ的確に行うには、各自の役割とその対応内容を十分理解しておく必要があります。そのためには、従業員への教育や訓練が欠かせません。

教育・訓練のどちらかにチェックしてください。

何を目的に教育・訓練を実施するのかを明確にします。

教育・訓練を計画的に実施するため、実施時期や頻度を明確にします。年1回以上の実施をしてください。

区分	内容	目的	対象者	頻度・時期
<input checked="" type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> 訓練	BCP研修	全従業員へのBCP対応の周知	全従業員 (グループ毎に実施)	毎年1回
<input type="checkbox"/> 教育 <input checked="" type="checkbox"/> 訓練	避難訓練	避難時の対応の周知徹底	全従業員	毎年1回/9月実施
<input type="checkbox"/> 教育 <input checked="" type="checkbox"/> 訓練	安否確認連絡訓練	安否確認手段の周知徹底	全従業員	最低年2回 (メール/リスト・web171)

誰を対象に教育・訓練を実施するのか明確にします。

- ※ はじめは消火訓練など簡単な訓練でも構いませんので、定期的に訓練を実施し、従業員の理解に応じて、より広範な訓練を実施していくことが重要です。
- ※ 特に、初動対応については、従業員携帯カードなどを活用した研修や、安否確認訓練などを実施し、確実に必要な行動が取れるようにしましょう。
- ※ 訓練の結果に応じて、このBCPの見直しをしましょう。

…▶ 次の「5. 点検・是正措置・見直し」では、このBCPの運用について検討します。

5. 点検・是正措置・見直し

-ポイント-

- ・BCPで決めた各種対応策の実施状況を踏まえ、定期的な見直しを行う必要があります。また、それ以外に見直しを行うべき場合も、あらかじめ決めておきましょう。

以下の基準に該当する場合には、経営者および各部門長で見直しを行い、必要に応じて更新する。

点検・是正措置・見直しの基準
毎年3月の経営者会議において定期的な見直しを行う。
大幅な組織改編時に特に体制の見直しを行う。
業務形態、主要製品が変化した際にBCP全般の見直しを行う。

年1回以上の見直しをしてください。

点検・見直しを行う着眼点(例)	チェック
主要な製品や取引先に変更はないか？	<input type="checkbox"/>
重要業務に必要な各種経営資源に変更はないか？	<input type="checkbox"/>
BCP対応策の優先順位、実施時期に変更はないか？	<input type="checkbox"/>
会社の組織体制に変更はないか？	<input type="checkbox"/>

例えば、以下のような着眼点で、見直しを行ってください。

…▶ あなたの会社のBCPは、ほぼ形になりました。
このBCPの実効性を高めるために、次ページ以降の【様式】をそれぞれ記入してBCPを完成させましょう。

【様式 ①】 BCP対応拠点一覧

-ポイント-

- ・事業を継続または早期に復旧させるには、従業員の安否確認、取引先との連絡、情報の集約、指揮などを行うための重要拠点を明確にし、全従業員に周知する必要があります。
- ・事業所に立ち入れなくなる場合も想定して、3か所程度のBCP対応を行う拠点を、あらかじめ決めておきましょう。

優先順位	重要拠点	連絡手段	連絡先
1	本社工場	電話・FAX 衛星携帯電話	電話:000-000-0000 FAX:000-000-0000 衛星携帯:000-000-0000
2	社長自宅	電話・FAX 携帯電話 携帯メール	電話:000-000-0000 FAX:000-000-0000 携帯:000-000-0000 メール:※※@+++ne.jp
3	〇〇営業所	電話・FAX	電話:000-000-0000 FAX:000-000-0000

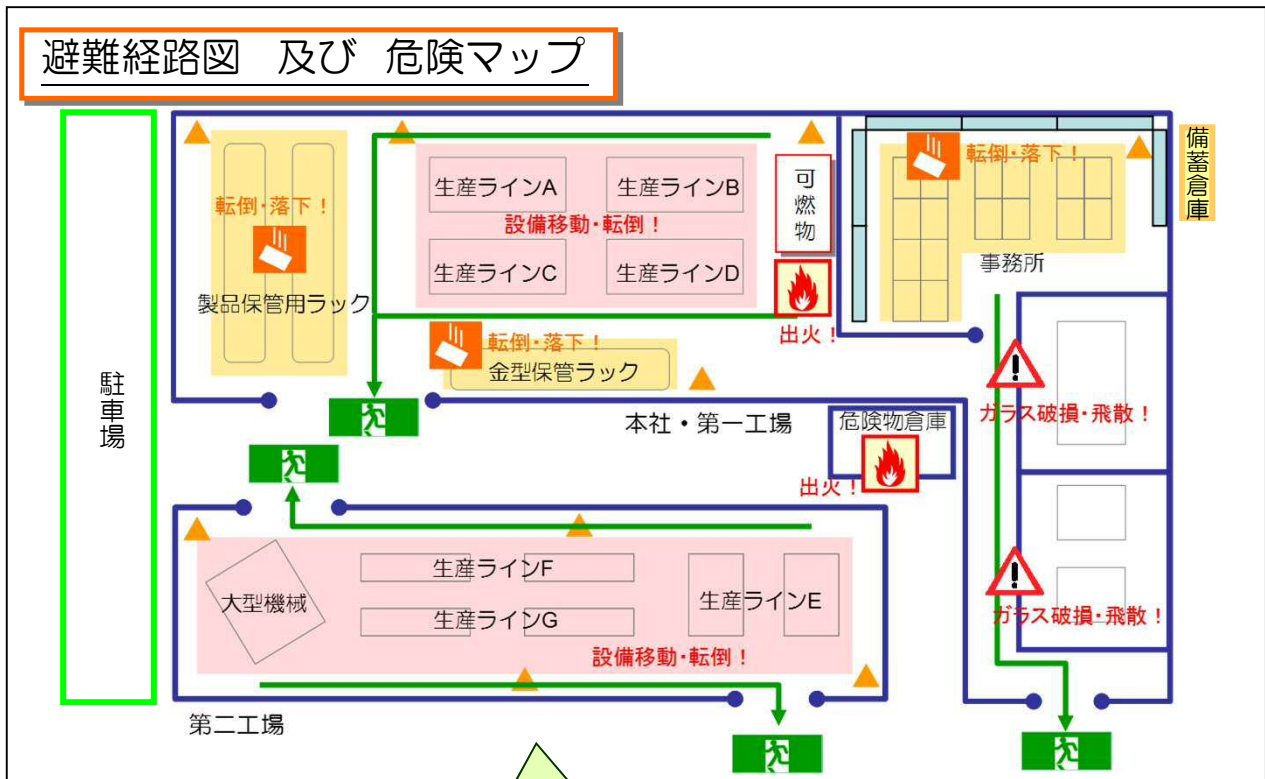
※上記の重要拠点には、BCP対応に必要な連絡先リストなど、必要なツールを事前に整備しましょう。

【様式 ②】 避難経路図・避難計画

避難経路図

-ポイント-

- ・取引先や来客、従業員が、安全な場所へスムーズに避難できるように、避難計画を作成しましょう。
- ・避難経路を決める際には、事業所内で爆発や延焼の可能性のある危険物の設置場所を把握しておくことが、重要です。
- ・安全な避難のため、経路だけでなく、危険物の保管場所、消火器や工具などの保管場所、また、非常口や非常階段の場所を記載しておきましょう。
- ・この経路図は、事業所内に掲示板として設置しましょう。



避難計画

既に避難経路図等があれば、それを活用しましょう。

※ この様式の大きさにかかわらず、できるだけ大きく張り出してください。

-ポイント-

- ・火災や倒壊の危険がない場合は、事業所内にとどまる方が安全な場合があります。避難誘導責任者には、臨機応変な対応が求められます。

事業所名	本社工場
避難場所 (集合場所)	本社工場脇駐車場
避難誘導責任者 (代理責任者)	総務部長 (△△課長)
備考	避難誘導責任者は、従業員等の避難者が危険エリアを通過する際に十分注意するよう注意喚起を行うこと。

火災発生等により避難が必要な場合に備えて、避難場所、避難誘導を行う際の注意点を明確にしておきましょう。

【様式 ③】 備蓄品リスト

-ポイント-

- ・ 備蓄品は、災害が発生した際に、その場から避難するために必要なモノ、救援などの応急措置に必要なモノ、その後生きながらえるために必要なモノといった観点から考えてください。
- ・ 水や食料などの備蓄量は、《人数×3日分》が目安とされています。あなたの会社の予算やスペースの制約もあると思われますが、人命の安全確保の観点からも3日分を目安に確保してください。
- ・ BCP対応を行う要員や、帰宅できない従業員を対象とした備蓄品については、特に準備が必要です。

あなたの会社で整備している備蓄品などを、この項目で整理しておきましょう。

水や食料などの備蓄量は、《人数×3日分》が目安とされています。

項目	備蓄量	要更新	更新確認時期	整備状況チェック
従業員分の水（1人あたり1日3リットルが目安）	3リットル×100人×3日分	<input checked="" type="checkbox"/>	毎年4月	<input checked="" type="checkbox"/>
食料	カップめん等 200食	<input checked="" type="checkbox"/>	毎年4月	<input checked="" type="checkbox"/>
ラジオ（乾電池型、手巻充電型）と予備乾電池	ラジオ2個 予備乾電池 5個	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>
懐中電燈と予備乾電池	各部5セット	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>
救急箱	各部1セット	<input checked="" type="checkbox"/>	毎年4月	<input checked="" type="checkbox"/>
衛生用具類（ウェットティッシュ、トイレトーパーなど）	常時使用分のみ	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>
工具類（バール、ペンチ、ハンマー、シャベルなど）	各3セット			<input checked="" type="checkbox"/>
ビニールシート及び布テープ				<input type="checkbox"/>
ブルーシート	10m×10m×3 セット	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>
簡易トイレ製品（または、トイレ用ビニール袋及びビニールテープ）		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
毛布		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
携帯電話の充電器	各部1セット	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>
拡声器		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
発電機	2台	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>
発電機用燃料ガソリン	30リットル	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

閉じ込められたヒトの救出等に使用します。閉じ込めのおそれがある場所には特に整備しましょう。

【様式 ②】の避難経路図に備蓄品の保管場所も記入しましょう。

対策本部や復旧作業で使用する電源の確保のために発電機、およびその燃料を備蓄することは有効です。

【様式④】 二次災害防止用チェックリスト

この様式は災害発生後も記入します

-ポイント-

- ・被災時に、事業所を早期に復旧するためにも、被害は最小限にとどめなければなりません。また、周辺の住民や他企業へ迷惑をかけないように、二次災害の防止に努めなければなりません。
- ・危険物の漏洩や火災発生のおそれがある箇所については、特に十分な措置を行う必要があります。
- ・地震の場合には、建物崩壊の危険性や火災の発生がなければ、無理に避難する必要はありません。
- ・避難する際にも、揺れが収まるまでは、まず身の安全を確保することが最優先です。揺れが収まったら、落ち着いて二次災害を防止する措置を行った後に、避難しましょう。

チェックすべき箇所・項目	具体的な対応策	対応済
危険物倉庫・可燃物保管場所 (初期消火活動)	担当責任者である総務部長(副:△△課長)の指示の下、要確認箇所の被害状況を迅速に確認し、状況報告を行う。必要に応じて初期消火等の対応を行う。	<input checked="" type="checkbox"/>
機械油保管場所 (機械油の漏洩防止)	担当責任者である総務部長(副:△△課長)の指示の下、機械油の保管状況について確認し、状況報告を行う。必要に応じて機械油除去作業を行う。	<input checked="" type="checkbox"/>
		<input type="checkbox"/>

「青字」のチェック欄については、被災後に記入します。

【様式 ⑤】 従業員連絡先リスト

-ポイント-

- ・この様式に記載した内容を基に、「安否確認チェックシート」「緊急時出社メンバーリスト」や「部単位のリスト」などに適宜加工し、利用するようにしてください。
- ・既存の同様のリストがある場合は、それを加工することで、作業を軽減できます。
- ・被災時において、雇用形態は関係ありません。役員・職員だけでなく、パートやアルバイトの情報も記載しましょう。
- ・電話が繋がりにくいことが想定されます。電話だけではなく、携帯メール、PCメールなどについても、連絡先を複数把握しておきましょう。

(平成●●年●月●日 更新)

氏名	部署	役職	電話番号	携帯番号	緊急連絡先 (家族など)	携帯メール アドレス	緊急時 出社の 必要性	キーとなる スキル
〇〇〇〇		社長	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp	有	
〇〇〇〇		副社長	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp	有	
〇〇〇〇	総務部	部長	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp	有	
〇〇〇〇	総務部	課長	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp	有	
〇〇〇〇	総務部	課長	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp	有	
〇〇〇〇	総務部	主任	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp		
〇〇〇〇	総務部	主任	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp		
〇〇〇〇	総務部		000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp		
〇〇〇〇	総務部		000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp		
〇〇〇〇	総務部	パート	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp		
〇〇〇〇	営業部	部長	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp	有	
〇〇〇〇	営業部	課長	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp	有	
〇〇〇〇	営業部	主任	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp		
〇〇〇〇	営業部		000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp		
〇〇〇〇	生産部	部長	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp	有	
〇〇〇〇	生産部	課長	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp	有	
〇〇〇〇	生産部	課長	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp	有	
〇〇〇〇	生産部	課長	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp	有	
〇〇〇〇	生産部	主任	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp		
〇〇〇〇	生産部	主任	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp	有	設備Aの調整
〇〇〇〇	生産部	主任	000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp	有	システム管理
〇〇〇〇	生産部		000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp		
〇〇〇〇	生産部		000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp		
〇〇〇〇	生産部		000-000-0000	000-000-0000	000-000-0000	***@***.ne.jp		

BCP要員として
参集すべきヒトを
明確にしておきま
しょう。

上記リストに追加する際には、連絡・指示に用いる『安否確認用メールリスト』についても更新を行うこと。

【様式 ⑥】 安否確認チェックシート

この様式は災害発生後も記入します

-ポイント-

- BCP対応をスムーズに行うには、被災後の復旧活動において、何よりも人員を確保することが重要です。被災直後に、速やかに役員及び従業員の安否確認ができるようにしましょう。
- 既に、防災計画等で作成済みの場合には、それを活用してください。
- また、社員本人のみならず、その家族の安否についても確認しましょう。家族の怪我などの状況によっては、家族への対応を優先させることも考えられます。

安否確認手段	・携帯メールによる一斉確認(メーリングリスト)
安否確認実施基準	・愛知県内で「震度5強」以上の地震が発生した時 ・その他社長が必要と判断した場合

この箇所については、事前に必要事項を決定し、記入してください。

(参考)

- ※ 従業員全員を対象に、定期的に安否確認の訓練を実施しましょう。
- ※ 安否確認を行う際には、【様式 ⑤】の「従業員連絡先リスト」を活用してください。
- ※ 必要な情報を【様式 ⑫】の「従業員携帯カード」に記載し、従業員全員に携帯させてください。

NO	確認年月日	職員名	キーとなるスキル	緊急時連絡先TEL	携帯メール PCメール	確認事項			
						職員・家族の安否状況	家屋の被害状況	出勤予定日	避難先等
1	0/0/0	0000		000-000-0000	***@***.ne.jp	負傷者無し	被害無し	0/0	
2	0/0/0	0000		000-000-0000	***@***.ne.jp	負傷者無し	被害無し	0/0	
3	0/0/0	0000		000-000-0000	***@***.ne.jp	祖母:骨折	半壊	未定	〇〇避難所
4	0/0/0	0000	設備Aの調整	000-000-0000	***@***.ne.jp	負傷者無し	被害無し	0/0	
5	0/0/0	0000		000-000-0000	***@***.ne.jp	負傷者無し	被害無し	0/0	
6	0/0/0	0000		000-000-0000	***@***.ne.jp	負傷者無し	軽微な損傷	0/0	
7	0/0/0	0000	システム管理	000-000-0000	***@***.ne.jp	負傷者無し	軽微な損傷	0/0	
8	0/0/0	0000		000-000-0000	***@***.ne.jp	負傷者無し	倒壊	未定	〇〇避難所
9	0/0/0	0000		000-000-0000	無し	負傷者無し	半壊	未定	
10	0/0/0	0000		000-000-0000	***@***.ne.jp	長女:火傷	半壊	未定	〇〇避難所
例	08/4/1	田中一郎		090-xxxx-xxxx	ichiro@xx.co.jp	本人:かすり傷 長男:打撲傷	建物少し傾く。 家具転倒。 ガラス散乱。	4/4予定	●●中学校に避難

「青字」の箇所については、被災後に記入します。

【様式 ⑦】 地域貢献策一覧

-ポイント-

- 企業は、人道的な面からも、被災時の地域貢献が求められています。初動対応での人命救助を疎かにしたことで、非難を浴びた事例もあります。また、事業を再開するにあたっては、地域と共に復旧に向けた活動を行うなど、周囲とのバランスも大切です。
- CSR（企業の社会的責任）の観点からも、地域貢献には積極的に取り組みましょう。

地域貢献策として取り組む項目を挙げましょう。どの時点で、何ができるのかを整理すると、貢献策が考えやすくなります。

地域貢献策の具体的な取組みについて、明確にしておきましょう。従業員への周知も大切です。

地域貢献策	具体的な地域貢献の内容
共同防災訓練への参加 (平時)	地域の防災訓練に積極的に参加し、平時から地域と連携して地域防災に取り組む。
初期消火活動 (発災直後)	本社工場周辺で火災が発生した場合には、初期消火に協力し、周辺地域の安全確保に努める。
片付け (発災から数日間)	本社工場周辺で、被災建物の片付け等の活動に協力し、周辺地域の復旧活動に貢献する。

連携が有効!



地域と連携することが効果的です。具体的な事例については「BCP取組み事例集」(Ⅲ. BCP取組みの連携事例・アイデア集)を参照してください。

【様式 ⑧-1】 被災状況調査シート(自社用)

この様式は災害発生後も記入します

施設名	本社工場	場所	第二工場	確認者	〇〇
チェック項目		異常の有無、被害状況			
人的被害の有無		<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (死者 人、負傷者 3 人)		
施設	外壁(3箇所)	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input checked="" type="checkbox"/> 一部破損 <input type="checkbox"/> ほぼ全壊 <input type="checkbox"/> その他_____)		
	柱(5箇所)	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input checked="" type="checkbox"/> 一部破損 <input type="checkbox"/> ほぼ全壊 <input type="checkbox"/> その他_____)		
	天井パネル	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input checked="" type="checkbox"/> 一部破損 <input type="checkbox"/> ほぼ全壊 <input type="checkbox"/> その他_____)		
	窓ガラス	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 一部破損 <input type="checkbox"/> ほぼ全壊 <input checked="" type="checkbox"/> その他5枚割れ、床面に散乱)		
	床スラブ	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 一部破損 <input type="checkbox"/> ほぼ全壊 <input checked="" type="checkbox"/> その他一部沈下、クラック発生多数)		
		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 一部破損 <input type="checkbox"/> ほぼ全壊 <input type="checkbox"/> その他_____)		
設備	大型機械	<input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 移動 <input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 機能支障)		
	生産設備E	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input checked="" type="checkbox"/> 移動 <input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 機能支障)		
	生産設備F	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 移動 <input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 転倒 <input checked="" type="checkbox"/> 機能支障)		
	生産設備G	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 移動 <input type="checkbox"/> 破損 <input checked="" type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 機能支障)		
	測定機	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 移動 <input checked="" type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 機能支障)		
		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 移動 <input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 機能支障)		
什器・備品	金型ラック	<input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 収納物落下 <input type="checkbox"/> 移動 <input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 転倒)		
	工具保管ラック	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input checked="" type="checkbox"/> 収納物落下 <input type="checkbox"/> 移動 <input type="checkbox"/> 破損 <input checked="" type="checkbox"/> 転倒)		
		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 収納物落下 <input type="checkbox"/> 移動 <input type="checkbox"/> 破損 <input type="checkbox"/> 転倒)		
仕掛品	製品A	<input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 一部破損 <input type="checkbox"/> ほぼ全損 <input type="checkbox"/>)		
	製品C	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input checked="" type="checkbox"/> 一部破損 <input type="checkbox"/> ほぼ全損 <input type="checkbox"/>)		
	製品D	<input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (<input checked="" type="checkbox"/> 一部破損 <input type="checkbox"/> ほぼ全損 <input type="checkbox"/>)		
		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 一部破損 <input type="checkbox"/> ほぼ全損 <input type="checkbox"/>)		
		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/> 一部破損 <input type="checkbox"/> ほぼ全損 <input type="checkbox"/>)		
その他		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/>)		
		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/>)		
		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/>)		
		<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 (<input type="checkbox"/>)		

「青字」の箇所については、被災後に記入します。

被災状況を確認する必要がある場所の数に応じて、必要と思われる枚数を事前に用意しておきましょう。

【様式 ⑧-2】 被災状況調査シート(取引先用)

会社名		××工業		この様式は災害発生後も記入します
住所		愛知県〇〇市〇〇〇 〇-〇-〇		
電話番号(代表)		000-000-0000		
第1 連絡先	部門	営業部	担当者名	〇〇 〇〇様
	電話番号	000-000-0000	携帯電話等	000-0000-0000
	Fax番号	000-000-0000	携帯メールアドレス	***@***.ne.jp
第2 連絡先	部門	生産部	担当者名	〇〇 〇〇様
	電話番号	000-000-0000	携帯電話等	000-0000-0000
	Fax番号	000-000-0000	携帯メールアドレス	***@***.ne.jp
現在の被災状況		<ul style="list-style-type: none"> ・生産設備の移動に伴う破損により、生産停止。 ・電気が停止。 ・従業員の安否確認中。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">「青字」の箇所については、被災後に記入します。</div>		
今後の対応方針		<ul style="list-style-type: none"> ・従業員の安否確認結果を基に、参集要員を選定。 ・その後詳細な復旧スケジュールを検討後、関係する取引先企業へ配布予定。 		
製品・サービスの復旧予定		<ul style="list-style-type: none"> ・一週間以内に生産設備の復旧・調整を完了予定。 		
備考 (自社の対応方針等)		<ul style="list-style-type: none"> ・××工業の復旧時期を逐次確認する。 		

主要取引先の数に応じて、必要と思われる枚数を事前に用意しておきましょう。

【様式 ⑨】 主要連絡先リスト

ーポイントー

- ・災害・事故発生時には、関係各社とお互いの被災状況や重要業務の復旧、再開などについて情報共有する必要があります。
- ・また、生産設備などに被害が発生した場合には、設備業者を速やかに確保するなどの対応が必要です。あらかじめ、どこに、どのような手段で連絡するのかを整理しましょう。

(●●年●月●日 更新)

区分	項目	相手先	担当者	連絡手段	連絡先
重要拠点	第一拠点	本社・工場	〇〇	電話	000-000-0000
				衛星携帯	000-000-0000
	第二拠点	社長自宅	〇〇	携帯	000-0000-0000
				電話	000-000-0000
第三拠点	〇〇営業所	〇〇	電話	000-0000-0000	
協力会社	上位サプライヤ	××工業	〇〇	電話	000-000-0000
	代替生産先	〇×製作所	〇〇	電話	000-000-0000
	熱処理業者	〇△(株)	〇〇	電話	000-000-0000
設備	生産設備A	〇〇設備	〇〇	電話	000-000-0000
	生産設備B	〇〇精機	〇〇	電話	000-000-0000
	生産設備C	××製作所	〇〇	電話	000-000-0000
原材料	原材料A	〇〇鉄鋼所	〇〇	電話	000-000-0000
	原材料B	△△製鉄	〇〇	電話	000-000-0000
	(代替先)	××金属	〇〇	電話	000-000-0000
物流	出荷	〇〇運送	〇〇	電話	000-000-0000
	出荷	××通運	〇〇	電話	000-000-0000
システム・データ	データサーバ	〇〇(株)	〇〇	電話	000-000-0000
カネ	金融機関	〇〇銀行	〇〇	電話	000-000-0000
	金融機関	××信用金庫	〇〇	電話	000-000-0000
ライフライン	電気	〇×電力	〇〇	電話	000-000-0000
	上水道	〇〇水道局	〇〇	電話	000-000-0000
	下水道	〇△下水道局	〇〇	電話	000-000-0000
	ガス	〇×ガス	〇〇	電話	000-000-0000
	電話・通信	NTT西日本	〇〇	電話	000-000-0000
官公庁	商工会議所	〇〇商工会議所	〇〇	電話	000-000-0000
	消防	〇〇消防署	〇〇	電話	000-000-0000
	行政	〇〇局	〇〇	電話	000-000-0000
組合	同業種組合	〇〇工業組合	〇〇	電話	000-000-0000
	地域組合	〇〇工業団地組合	〇〇	電話	000-000-0000
取引先	自動車部品	〇〇精機	〇〇	電話	000-000-0000
	機械製造	△△製作所	〇〇	電話	000-000-0000
	工作機械	〇〇工業	〇〇	電話	000-000-0000
その他					

【様式 ⑩】 連携対応策一覧

連携が有効!



-ポイント-

- 被害が広く県内に及ぶような広域災害の場合には、過去の災害の例を見ても、あなたの会社の対応だけでは早期に復旧できない場合があります。
- **取引先企業や同業他社との共助などを、あらかじめ検討しておく**と有効です。日頃の組合の会合、定例の研修会などで培ったネットワークが、震災時の代替生産、応援要員派遣など、共助の足がかりになります。
- (参考)の①～③の視点から、どのような連携対応策があるのかを検討しましょう。

連携対応策	連携対応策の具体的な内容
代替生産	県外の協力会社Aと緊急時に一時的な代替生産を行う協定を結んでいる。

連携対応策として取り組む項目を記入してください。

(参考)

①近隣企業との共助

※ 平時における共同防災訓練や共同備蓄などを行い、近隣企業との交流を持つことが非常に重要です。

- 災害時における初期消火や救命活動の支援など
- ライフラインの被害状況把握や、復旧情報の共有、それらに関する業者の共同手配など

②同業他社との共助

※ 日頃からのネットワーク、信頼関係が重要ですので、普段からの取引や組合活動の中で、「勉強会」「セミナー」などの機会を通じて、話し合うことも重要です。

- 施設、設備、要員の応援や一時的な生産請負など

③サプライチェーンにおける共助

※ 企業は、少なからずサプライチェーンの中に組み込まれています。

※ BCPをまとめていく上でも、重要な供給先、仕入先企業など各種取引先との関係を考慮・想定しながら整理していくことが重要です。

※ また、被災時には、サプライチェーンの中でのあなたの会社の重要性・存在感が、その後の復旧や支援に大きく関わってきます。ここで作成したBCPを取引先へ伝えるなど積極的にアピールすることで、あなたの会社の存在感も高まります。

- 上位サプライヤとの事前協議、応援要請など

-ポイント-

各部署、各従業員が、被災時の連絡先や自分のやるべきことについて記入しましょう。
記入したものは、定期入れや財布に納め常に、携行するようにしてください。

別途作成
(別ファイル)

